

## 【千葉県の概要】

### 1 水稲

(1) 千葉県における令和2年産水稲の作付面積（子実用）は5万5,400haで、前年産に比べ600ha減少した。

また、主食用作付面積は5万2,500haとなった。

(2) 全もみ数（穂数×1穂あたりもみ数）は、穂数が平年並み、1穂あたりもみ数がやや多いとなったことから「やや多い」となり、登熟は、出穂前の寡照多雨の影響に加え、全もみ数がやや多い相反作用により「やや不良」となった。

(3) この結果、千葉県の10aあたり収量は537kgで、前年産に比べ21kg増加した。

また、作柄表示地帯別では、京葉で522kg（前年産に比べ17kg増加）、九十九里で557kg（同32kg増加）、南房総で508kg（同1kg減少）となった。

なお、農家等が使用しているふるい目幅（1.80mm）で選別された千葉県の作況指数は99となり、作柄表示地帯別では、京葉で100、九十九里で99、南房総で97となった。

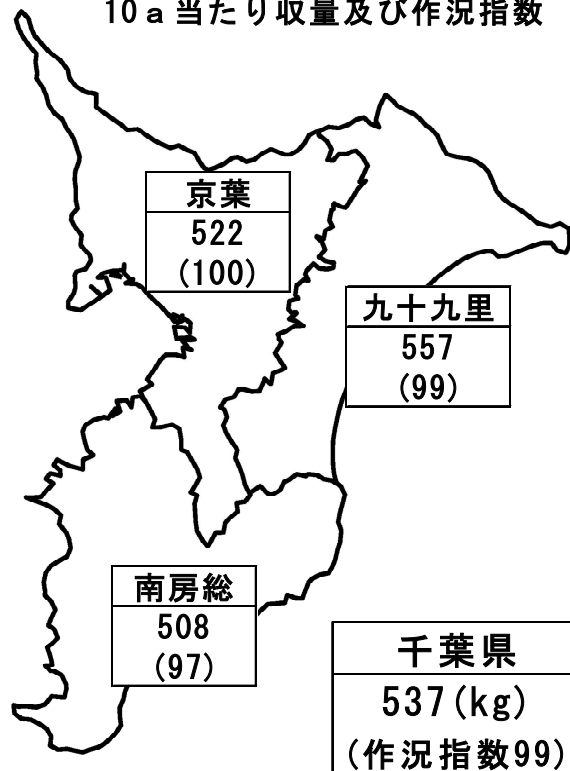
(4) 以上のことから、収穫量（子実用）は29万7,500tで、前年産に比べ8,500t増加した。

また、主食用作付面積に10aあたり収量を乗じた収穫量（主食用）は28万1,900tで、前年産に比べ4,800t増加した。

### 2 陸稲

本年産については、主産県を調査の対象としているため本県の調査は実施していません。

図 水稲の作柄表示地帯別  
10aあたり収量及び作況指数

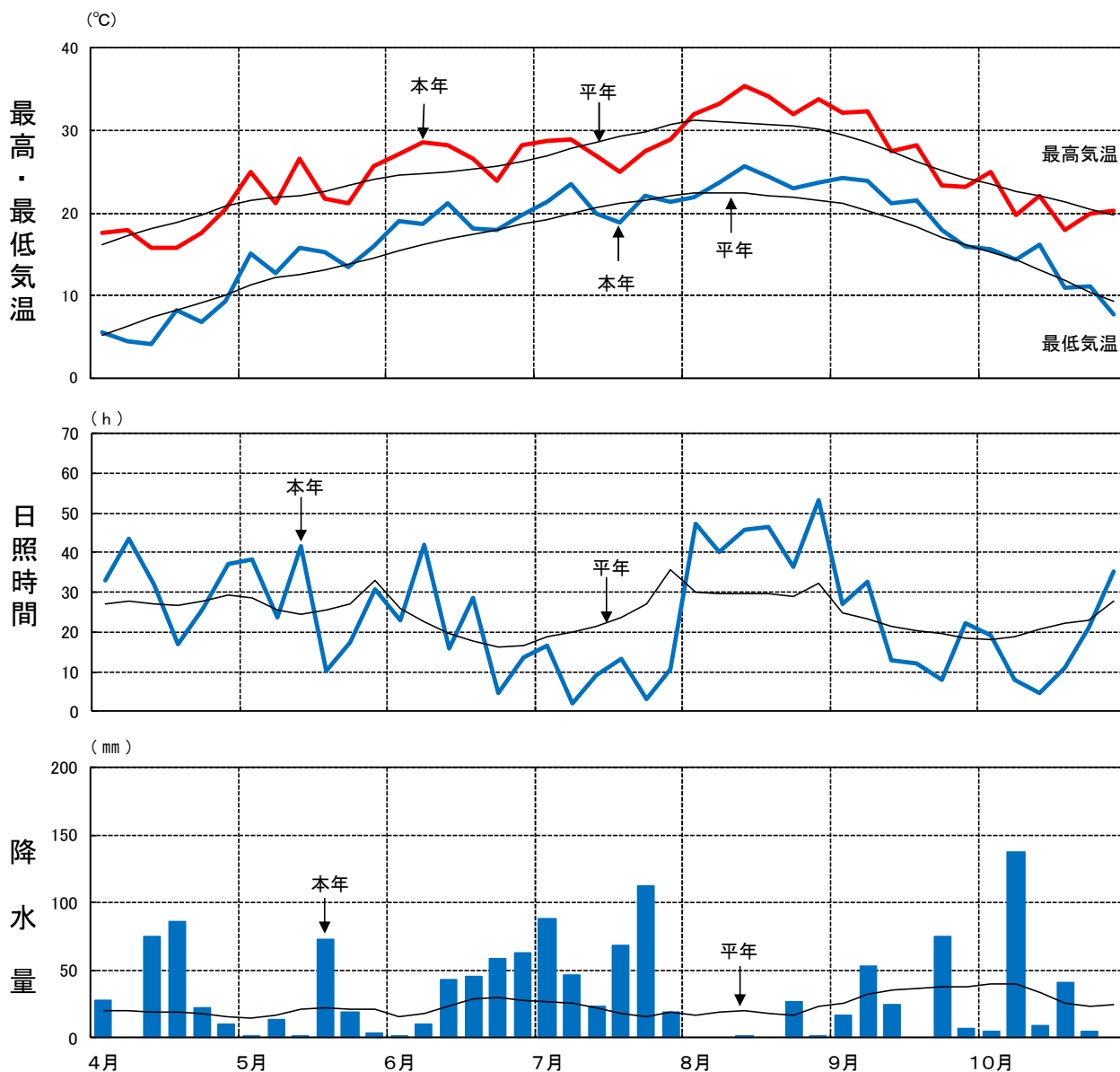


○ この資料は、「令和2年産水陸稲の収穫量（関東農政局管内）」12月9日公表の補足資料として作成したものです。

詳細については同公表資料を御覧ください。

本資料は、関東農政局ホームページ「統計情報」の次のURLから御覧いただけます。  
【 [https://www.maff.go.jp/kanto/to\\_jyo/](https://www.maff.go.jp/kanto/to_jyo/) 】

## 令和2年 半旬別気象（佐倉）



資料：気象庁

水稲の耕種期日

田植期 $\longleftrightarrow$ 4/28(±0)	出穂期 $\longleftrightarrow$ 7/21(Δ2)	刈取期 $\longleftrightarrow$ 9/1(Δ3)
------------------------------------------	------------------------------------------	-----------------------------------------

注：田植期、出穂期及び刈取期の期日は、いずれも最盛期を示す。  
 なお、( )内は、平年との遅速(日数)を示す。

### お問合せ先

◎本統計調査結果について  
 関東農政局 千葉県拠点 統計チーム  
 電話：043-253-9212  
 F A X：043-253-9216